

NS-21A と NS-117A の相違点

日科ミクロン(株) 医療事業部

※『汎用卓上型分包器 NS-117A』の小型簡素化を目的として製造されたのが、『小型卓上型分包器 NS-21A』です。
専用分包紙・出来上がりの分包サイズは同じになります。

2種の違いは以下の通りです。

① 本体サイズ

NS-21A → W460×D370×H225mm

NS-117A → W555×D420×H260mm

② 重量

NS-21A → 約 15kg

NS-117A → 約 32kg

③ シール時電流 (電源 AC100V)

NS-21A → 14A

NS-117A → 18A (※電源の確保をお願いします。)

④ 開閉方式

NS-21A → カムロック方式

(押しボタン型スイッチを採用。

分包紙とお薬を準備したら、上蓋の取っ手を片手で持ち、静かに下に押し下げてロックをかけます。

分包が終了すると、ブザー音鳴動でお知らせします。)

NS-117A → マグネットクラッチ方式

(マグネットスイッチを採用。

分包紙とお薬を準備したら、上蓋のハンドルを両手で持ち、静かに下に押し下げてから、体重を乗せるようにして、蓋をしっかりマグネットに密着させます。

分包が終了すると、マグネットが切れて、蓋が半開きになります。)

【NS-21A】 カムロック方式



【NS-117A】 マグネットクラッチ方式

